

11月13日

テーマ：「私にあるもの」

聖書箇所：使徒の働き3章1～10節

◆今日のみことば

すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」使徒の働き3章6節

◆メッセージ

ある所に、生まれつき足が曲がったまま、立つことも歩くこともできない人がいました。大人になっても、働いてお金をもうけることが出来ませんでした。



それで他の人に毎日、宮の門の所まで連れて行ってもらい、ものごいをしていました。人からお金や食べ物をもって生活するしかありませんでした。そこは美しい、青銅で出来た門でしたから、美しいの門と呼ばれ、神さまを礼拝する人たちが、朝から晩まで大勢出たり入ったりしていました。その人たちに向かって、動くことができないこの人は頭を下げたお金を求めました。そんな生活が何年も続いていました。

ある日、ペテロさんとヨハネさんがお祈りするのために、宮にやってきて、この美しいの門を通りました。この人は二人を見上げて、「どうか、このあわれな私をお恵みください」と言いました。二人は立ち止まってその人を見ました。ペテロさんは彼に私たちを見なさい、と言いました。彼はじっと二人を見つめて、親切そうな人たちなのできっとたくさんのお金を恵んでくれるにちがいないと思いました。ペテロさんは「私にはお金はありません。しかし私が持っているものをあげましょう。」と言いました。それは彼にとって、お金以上に必要なものでした。ペテロさんは「ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」こう言いながらペテロさんは、彼の右の手をとって起こしました。

すると足に力が入り、両足で立ち、歩けるようになりました。お金をもらうよりどんなにうれしかったことでしょう。足が治るとすぐ、彼は何をしたでしょうか。まず神さまに感謝しました。

ペテロさんとヨハネさんは神さまのお力によって不思議なことができたのです。私が助けてあげなければいけない、そのためにはお金があれば、力があれば、と思っていないですか。イエスさまに祈り求めると、神さまが力あることをして下さいます。私たちは、何よりもすばらしいイエスさまをもっています。



◆お祈り

「神さま、他の人に親切にできるようにさせてください。」

(聖泉キリスト教会伝道師 村松ヒデ)